

平成 19 年 3 月 6 日

各 位

神奈川県川崎市高津区坂戸 3-2-1  
オンコセラピー・サイエンス株式会社  
代表取締役社長 富田 憲介  
(コード番号 4564 東証マザーズ)  
(問い合わせ先) 管理部長 西島雄一  
電話番号 044 - 820 - 8251

## 当社プロジェクトの「独創的シーズ展開事業委託開発」への採択について

独立行政法人科学技術振興機構(JST)は、国民経済上重要な科学技術に関する大学等で生まれた研究及び開発の成果であって、特に企業化が困難な開発課題を選定し、企業に委託して企業化開発を実施することにより、新技術の実用化を促進することを目的とし、平成 18 年度独創的シーズ展開事業委託開発の研究テーマを公募しておりました。このたび、当社および東京大学の共有する癌ペプチドワクチンを用いた「膀胱癌再発予防ペプチドワクチン」の開発プロジェクトが、同事業の対象として採択されましたのでお知らせいたします。

日本における膀胱癌の罹患数は高齢者人口の増加に伴い年々増加し、2000 年では 13,000 人、2015 年には 20,000 人を超える予想されています。早期膀胱癌は手術による腫瘍の摘出や既存の治療法では半数前後の患者さんが再発し、その後再発を繰り返しながら、最終的には膀胱の全摘出をよぎなくされる場合が少なくなく、患者さんの QOL の向上が求められています。

本新技術は、網羅的な遺伝子発現解析により単離された、膀胱癌で高頻度に高発現し、正常細胞でほとんど発現が見られない新規腫瘍抗原を標的とした、細胞傷害性 T 細胞(CTL)を誘導する新規癌ペプチドワクチン療法を臨床開発するものです。原理的には、本癌ペプチドワクチンによって誘導された CTL は、膀胱癌細胞だけを特異的に認識し殺細胞効果を発揮するものと期待されます。したがって、有効性が高く副作用のリスクが極めて低い癌治療薬として、再発予防による膀胱温存に寄与し、患者さんの QOL を向上させる治療法として利用しうるものと考えております。

今回の JST による独創的シーズ展開事業委託開発への採択により、当社は「膀胱癌再発予防ペプチドワクチン」開発プロジェクトに関する開発費として、7 年間に渡って総額約 15 億円の開発費の支援を受けることができ、膀胱癌再発予防ペプチドワクチンの臨床試験を進めることとなります。

なお、本件において既に公表しております通期業績予想に変更はございません。

以 上